

【療養給付請求書 様式第 16 号の 5(1) 記入例】

わかりやすく赤字にしているが実際には黒のボールペンで書く

2回目以降の請求では (ル)～(ネ)、および (ム) と (ウ) および会社の証明は不要

(↑と注にあるが、実際には2回目以降はこの裏面の記載を全て不要の扱いにしている労基署が多いと思われる)